

平成 30 年度 第 10 回 生命理工学院教授会議事要録

日 時 平成 31 年 2 月 20 日 (水) 15 : 13 ~ 17 : 15
場 所 B 2 棟 4 階大会議室
出 席 者 三原学院長ほか 60 名

資料

- 1 平成 30 年度第 9 回生命理工学院教授会議事要録 (案)
- 2 モスクワ大学生命情報工学科との部局間協定について
- 3 教員選考委員会の設置について
- 4 特任教員等の選考について
- 5 平成 30 年度第 10 回教育研究評議会資料
- 6 平成 30 年度第 7 回部局長等連絡会資料
- 7 客員研究員の受入れについて
- 8 東京工業大学特別研究員の称号付与について
- 9 平成 30 年度第 10 回すずかけ台地区部局長等懇談会資料
- 10 2019 年度各種委員会等名簿 (案)
- 11 2019 年度各種会議等開催日程 (案)
- 12 研究専念日指定制度について
- 13 働き方改革～ 一億総活躍社会の実現に向けて ～
- 14 障害学生に対するバリアフリー支援体制の見直しについて
- 15 大隅ジャーナル賞申請書
- 16 平成 30 年度進学の大学院博士後期課程第一種奨学生に係る採用時返還免除内定候補者の推薦
について (通知)

資料 (教務)

(学士課程)

- 1 - 1 平成 31 年度授業関係について
- 1 - 2 学生の異動について

(大学院課程)

- 2 - 1 平成 31 年度授業関係について
- 2 - 2 9, 10 時限の授業開講について
- 2 - 3 学生の異動について
- 2 - 4 研究指導の委託について

回収資料

- 1 特任教員等の選考について (略歴調書, 業績調書)

○現在員 79 名, 公務出張等 6 名, 定足数 37 名に対して出席者 61 名で教授会成立

○資料 1 に基づき, 前回議事要録 (案) を承認した。

議事要旨

I 審議事項

(学士課程)

- 1 - 1 平成 31 年度授業関係について

学院長から, 資料 1-1 (学士) に基づき説明があり, 審議の結果, 原案のとおりこれを承認した。

- 1-2 学生の異動について
学院長から、資料1-2（学士）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。

（大学院課程）

- 1-1 平成31年度授業関係について
学院長から、資料2-1（大学院）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-2 9, 10時限の授業開講について
学院長から、資料2-2（大学院）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-3 学生の異動について
学院長から、資料2-3（大学院）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 1-4 研究指導の委託について
学院長から、資料2-4（大学院）に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 2 生命理工学院とモスクワ大学生命情報工学科との部局間協定について
小島副学院長（国際担当）から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 3 教員選考委員会の設置について
- (1) テニュアトラック教員（卓越研究員制度） 講師
学院長から、資料3-1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- (2) 生命理工学系 生命理工学コース 生命科学（生物学）分野 助教
学院長から、資料3-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおりこれを承認した。
- 4 特任教員等の選考について
- (1) WRHI 特任教授
上野教授（標記選考委員会委員長）から、資料4及び回収資料1に基づき、選考結果の報告があり、審議の結果、業績調書を一部修正の上、これを承認し、学長に報告することとした。

II 諸 報 告

- 1 教育研究評議会関係
近藤評議員から、資料5に基づき、平成30年度第10回教育研究評議会の審議概要等について報告・説明があった。
- 2 部局長等連絡会関係
学院長から、資料6に基づき、平成30年度第7回部局長等連絡会の概要等について報告・説明があった。
- 3 本学院関係
- (1) 客員研究員の受入れについて
学院長から、資料7に基づき、本客員研究員の受入れについて報告があった。
- (2) 東京工業大学特別研究員の称号付与について
学院長から、資料8に基づき、本称号付与について報告があった。
- 4 系主任・コース主任会議関係
特になし
- 5 各種委員会等関係
- (1) 生命国際関係室関係

小島副学院長（国際担当）から、以下の事項について説明があった。

- ・ IGP(A)及び(C)に係る英語の合格基準について
- (2) 研究企画推進会議関係
太田副学院長（研究担当）から、以下の事項について説明があった。
 - ・ 共通設備の整備について
- (3) 安全衛生委員会関係
湯浅副学院長（総務担当）から、以下の事項について説明があった。
 - ・ 2019年度生命理工学院安全講習会の開催日程について
- 6 ずずかけ台地区部局長等懇談会関係
学院長から、資料9に基づき、平成30年度第10回ずずかけ台地区部局長等懇談会の概要等について報告・説明があった。
- 7 その他
 - (1) 2019年度各種委員会等委員の選出について
学院長から、資料10に基づき、本2019年度各種委員会等委員の選出について、現在、各グループ長に選出依頼を行うなどして選出を行っているところであるが、確定したものから順次教授会で承認手続を行う予定である旨説明があった。
 - (2) 2019年度各種会議等開催日程（案）について
学院長から、資料11に基づき、本2019年度各種会議等開催日程（案）について説明があった。
 - (3) 研究専念日指定制度について
学院長から、資料12に基づき、本研究専念日指定制度について、運営会議で検討の結果、以下のとおり対応することとした旨説明があった。
 - ・ 助教等若手教員を対象としたサバティカル研修的措置として、平成30年5月に実施した教員評価を基に5名程度を指名し、当該研修期間を研究記念日として指定するとともに、当該旅費の支援を行う。
 - ・ 研究専念日指定制度を各教員に周知の上、参加を希望する場合には、系主任及びコース主任（生命理工学コース又はライフエンジニアリングコース）との協議を経て、学院長が研究記念日として承認する。
 - (4) 働き方改革について
学院長から、資料13に基づき、本働き方改革について説明があり、質疑応答を行った。
 - (5) 障害学生に対するバリアフリー支援体制の見直しについて
学院長から、資料14に基づき、本障害学生に対するバリアフリー支援体制の見直しについて、監督責任者は学院長と定められているが、運営会議で検討の結果、監督者は湯浅副学院長（総務担当）に、バリアフリー支援部門員は一瀬教授（学生支援センター相談部門委員）にそれぞれお願いすることとした旨説明があった。
 - (6) 大隅ジャーナル賞の選考について
学院長から、資料15に基づき、本大隅ジャーナル賞の選考について説明があった。なお、論文における学生の所属部局について、指導教員が生命理工学院以外の場合には、必ず生命理工学院も記載（併記）するよう改めて依頼があった。
 - (7) 平成30年度進学の大学院博士後期課程第一種奨学生に係る採用時返還免除内定候補者の推薦について
学院長から、資料16に基づき、本平成30年度進学の大学院博士後期課程第一種奨学生に係る採用時返還免除内定候補者の推薦について、学院長と各副学院長で選考の上、推薦順位を付して3名の推薦（推薦枠1名）を行った旨説明があった。
 - (8) A0入試について
学院長から、本A0入試の検討状況等について説明があり、質疑応答を行った。

以上